

どんまい便り

《第6号》

2009年5月

ご挨拶

理事長 谷本圭吾

平素より松山市の精神保健福祉及び、当法人の活動に御支援御協力いただき、ありがとうございます。当法人もH17年10月に設立総会、H18年1月法人登記、同3月より活動を始めてから早4年目を迎えました。その間めまぐるしく情勢は変わり、翻弄されつつ、進み続けた3年間でした。

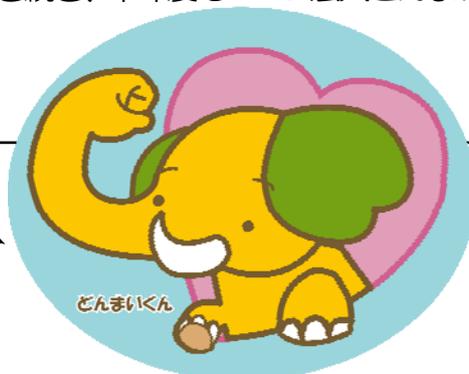
特にH20年度はどんまい本町センターの設立、ケアホームの新設、県全域の実施に先駆け松山市圏域での地域移行支援事業への参加協力等、理事も職員も多忙を極めた1年間でした。しかし、みんなの努力の甲斐あり、無事当面の目的を達成して、社会的入院を余儀なくされている方が地域で暮らすスタートを切るお手伝いが出来たことをうれしく思っております。長い方では30年間入院をされていた方もおられます。いまから自分の人生を少しでも取り戻してもらいたいと考えています。

現在定員30名(5施設)のうち、26の方が自分らしい生活をされています。残りの空きも順番に埋まっていく予定です。まだまだ困難だらけの運営が続くと思いますが、職員一丸となって取り組む所存です。

また今年度4月から小規模作業所ゆっくりクラブが、地域活動支援センターⅡ型として生まれ変わりました。新しいメンバー、新しい部屋がかわり、新たな活動が開始しました。

昨年度は個人の方だけではなく企業の方々にも多大、かつ様々なご理解御協力を頂いたことをうれしく思っております。

本年度も地道な活動を続けていく所存です。引き続き、本年度もNPO法人どんまいにご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



新ケアホーム紹介

平成21年1月15日にオープンしたどんまい本町センター。当初の予定では平成20年の6月頃でしたかね、その頃にオープン予定でしたが、谷あり谷ありで半年遅れでの完成となりました。難産の末、ようやくスタートをきったどんまい本町センター、その2階～4階はケアホームになっています。

ケアホームの中はどうなってるの？各階バラバラにオープンしたけどいつオープンしたの？特徴はあるの？といった疑問にお答えします！！

2階 どんまいハウス・こもれび

平成21年1月15日にオープンし、定員は5名で満室。

こもれび自体は松山市の精神障害者対象のケアホームでは一番歴史があります、最初は古町にあったそうです。それが、南銀天街の街中へ移動し、そして本町へ引越しとなりました。長い歴史なので、引越しも2回あったというわけです。

一番最初から、入居された方も年を重ねて足腰が痛いという話がぼちぼちとでてきました。確かに銀天街にあった時は立地条件は最高だったのですが、ビルの3階がケアホームで、しかも中には階段があり、3階と4階と分かれていたものですから、実際は4階までであったのと同様でした。

もうそろそろ、引越しをと言う要望が満場一致でそろい、引越しにいたった訳です。

なので、引越しして環境が変わった事に対してはすごく嬉しかったようで、部屋の片付けを積極的にするようになったり、入浴回数も増えたりとプラス面が多いです。

マイナス面と言えば、徒歩で作業所等に行っていたかたが自転車、電車に変わったという事です。だけど皆に聞いても引越しして良かったと言ってくれるので、スタッフも引越ししてよかったとお互い大満足です。



みんなでテレビ鑑賞中。。。もうすぐ晩ごはんかな???



さぁみんなで晩ごはん！！いただきます～♪

3階 どんまいハウス・わかば

平成21年4月20日にオープンした、できたてほやほやのケアホーム！5月15日現在は定員6名中3名しかいませんが、6月初旬には埋まる予定です。

入居されている方も入退院を何回も繰り返し替えされていた方や何十年も入院されていた方など様々おられ、それぞれ不安や悩みを抱えながら新しい生活を送っています。

できてすぐの頃は、トラブル続きであら大変。スタッフも頭を悩ませながら、あーでもない、こーでもないと唸っておりました。今も地域で生活されるならではの悩みや相談が相次いでいます。だけど、少しずつ少しずつ慣れてきている部分も多いにあるので、入居者スタッフ共に一緒に懸命進んで



支援員さんのお出迎え♪今日もおいしいごはんお願いしますね♪♪



いっただっきまーす！人数が少なかった、皆で食べるごはんはおいしいね♪

います！

4階 どんまいハウス・ひなた

平成21年1月19日にオープンしました。

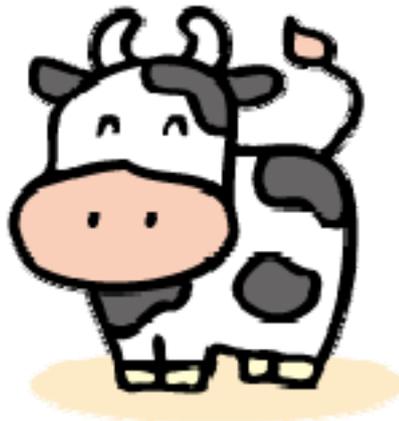
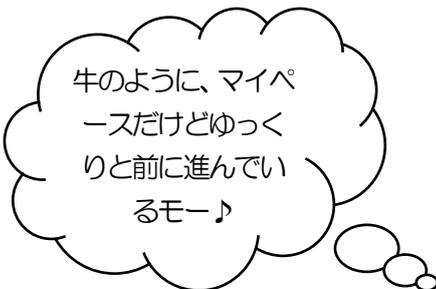
定員6名で今は満室。入院をされていた方から、地域で生活されていた方、ちょうど3対3割合で入居者がいます。

入居者はみなさんいい意味での曲者ぞろいで、それぞれに得意分野があり、ある方は鉄道に詳しくあったり、ある方は音楽に詳しくあったり、ある方は将棋に詳しくあったりと様々。

世話人の私はしょっちゅう誰かに教えてもらっているばかりです。ですが、そのおかげ私含め入居者の方もわからない事は素直に聞けるような環境になりました。

なので、困った時はお互い様、だからお互い助け合おうという形にいつのまにかなりました。

特性が強いのでどうなる事やらと思いながら、ドキドキしながら始めましたが案外、プラスになるものです。山あり谷ありですが、楽しく生活できる、そんなひなたです。



いただきます！今日のメニューは何でしょう？？



食後のくつろぎタイム♪おもしろいテレビあるかな～？？

／生活支援員特集／

ご存じの方はご存じですが、いつもケアホームで美味しい料理を作ってくれる生活支援員さん！！生活支援員さんがいるからこそ、生活の大切な「食」の部分が満足できるわけです。表立つことはないのですが、はっきりいいまして、縁の下の力持ちと言えます。

いつも美味しい料理を作ってくれ、今では手際よく料理を作ってくれますが、最初はそうではありません。精神の分野とは縁もゆかりもない方ですから、不安がいっぱい。胸いっぱいだったそうです。やれるだろうか。そんなに料理上手くないです、無理です etc

といった事があって、現在に至るわけです。現在はすっかり慣れていただき、入居者の方にとっても大切な存在になっています。だからこそ、焦点をあて記事にしてみました！！6つ質問を用意し、どんまいの生活支援員さん全員にアンケートをとりました。

- 1・この仕事をしたきっかけは？
- 2・仕事をする前に感じた事。不安な事
- 3・実際に試みて感じた事
- 4・気持ちの変化
- 5・精神障害者の人って？
- 6・これからの意気込みみたいなものを少々…

以上

抜粋して、記載しましたので、ご覧くださいませー

1・この仕事をしたきっかけは？

- ・食事を作る事が好きだったから
- ・悩んでいたが家と同じように作ったので構わないという話があり、決心がついた。
- ・シルバー人材センターからの紹介

皆さんほとんどがシルバー人材センターから紹介を受けて話を聞いて決めたという方がほとんどでした。当初、障害者に対する偏見等を危惧していたのですが、特にそういった事もなくとり越し苦労でした。

2・仕事をする前に感じた事。不安な事

- ・全く知らない、職業分野なので、すごく心配でした。人間関係を大切に思っていました。
- ・お金、献立これは大変!!!
- ・皆に喜んでもらえる食事を出せるか不安で不安で・・・。
- ・入居者の方と上手くコミュニケーションがとれるか心配でしたし、不安でした。

これは、2つにわかれまして。食事の部分。どうコミュニケーションをとったらいいか。やっぱり気を遣うというのがあったようで、文章にするとあまり伝わりませんが、初日は皆さん表情怖かったです。かなりの緊張があるのと、どうしたらいいかわからないというのが素直に伝わる感じです。でも、すぐ慣れてもらえるという確信がありました。今まで、一緒に仕事してきたうえで最初は、表情が固い方も、日がたつにつれ、柔らかくなってきてくれます。今では新しく入ってきてくれた方に「大丈夫！私も最初は不安で仕方がなかったけど、なんとかなったよ!!!」と笑顔で答え、励ましてくれます。

3・実際に試みて感じた事。

- ・最初はとまどいもあったけど、入居者の方との気心もわかり、楽になったように思いました。
- ・案ずるより生むがやすし…でも大変です。
- ・「おいしかったよ」の一言にホッとします。心やさしさを感じます。
- ・最初は緊張の毎日でした。メンバーさんも同じだったと思います。今はリラックスして、笑顔で挨拶とありがとうで自分なりに満足しています。入居者の笑顔が嬉しいです。

大変だけど、楽しいこともけっこうある！という意見が多かったです。「いろんな事がある。つらい時も多々ある。だけど、自分が作ったものを食べてもらってありがとうと言われる。だから仕事を続けられるし、楽しく感じる事が出来る。」という意見も聴きました。「奥が深いって事なんでしょうかね？」と尋ねると「奥が深いっていうのもあるけど、単純に嬉しい」と教えてくれました。

4・気持ちの変化

- ・いつまで続くか全く分かりませんが、もう少し頑張ってみようかなと思えるようになりました。
- ・半年以上たって、気分的に余裕ができたかな？また、メンバーさんの調子が悪い時少々疲れたかなと思う日もあります。
- ・最初の1・2年に比べて頑張りがなくなったようだ!!
- ・皆、一生懸命生活している。私もがんばらなくては!!

気持ちの変化はみなそれぞれですが、皆さん真剣です。入居者の方もそういった所をみて、「ごちそうさまです。」「美味しかったです。」と素直にいえるのだと感じます。だけど、その素直な部分が、上記に書いてある「調子が悪い時に少々疲れたかなと思う…」という意見に繋がるのだと思います。「今日は調子が良い、大丈夫。と思ったけど、反対だった。」と難しい部分も話してくれました。

5・精神障害者の人って？

- ・仕事をする前は特別な感じがしました。今は普通に話したり、特になにも感じなくなりました。

- ・とても気持ちがやさしく、気が小さく、体が大きい
- ・私の思った以上に皆さんやさしい。喧嘩もせず、控え目で、決まり事も守り、本当に障害者かとたまに思う。
- ・以前、うつ病になった事もあり、他人事ではないと感じる。
- ・よいと思ってする事が、悪くなってしまう事がある。自分では良く分かっていたつもりだったけど、まだまだ。

精神の分野とは全く関係がなかった方たちが、生活支援員さんになってくれていますので、単刀直入に聞きました。また広意義な質問にあえてしています。こういった返答が返ってくるのかなとドキドキしながら読みました。帰って来た答えは、実際接してみたら、という事でした。また、優しいという意見が多かったです。「疲れたなと感じた時に、『今日しんどそうですね。大丈夫です?』と話しかけてくれんです。」と教えてくれました。ここまで書いて思ったのですが、精神障害者の人って?って聞かれたら私はなんて答えるのだろうか悩みました。なので、よんでくれた人に聞きたいです。精神障害者の人って?

6・これからの意気込みみたいなもの少々…

- ・自分の立場としては、少しでも美味しい料理を作っていきたいと思います。
- ・入居者の方が気持ち良く話しかけていただけるように心がけていきたいと思います。
- ・仕事を続ける限り、私も色々と精神の勉強をし、知識を深められたら幸せです。初めての世界ですけど楽しいです。

皆さん、「美味しい料理を作れるようにがんばります」が、大半でした。紙面では伝わらないかも知れませんが、入居者の方は本当にご飯を楽しみにされています。夕食の時間が待ち遠しいようです。確かに美味しいので、定食屋ができるのではないかなと思います。蛇足ですが、ケアホームでの人気メニューはカレーだそうです。カレーは簡単に作れるのであまりしたくないと個人的に思ったりするのですが、今日は何食べたい?と聞くと高確率でカレーです。特別美味しいのかな?

これでアンケートの結果は終わりましたが、どうでしょうか。少しは伝わったでしょうか。こうしてみると生活支援員さんの言葉に様々な意味が含まれているのが分かります。関係機関との接触等もないので、なかなか生活支援員さんの仕事が見えないと思いますが、この記事を読んで頂き、少しでも興味や理解が頂けたらこんなうれしい事はありません。また今回、料理の部分に特化して書いていますが料理だけではなく、入居者の方と一緒に掃除をしてくれたり、世話人に言いづらい悩みにのってもらったり等と、入居者にとっていちばん身近な方であり、いちばん密着度が高いという重要な存在です。何度もいいますが、決して表立つことはありませんが、とても大切な人です。最後に一言。現在当法人には5施設のケアホームがあり、9人の生活支援員さんがいます。生活支援員さんの料理は皆、普通に美味しいです。ふつうの家庭の味なのですが、なぜかしら美味しいです。また、機会がありましたら、どうぞとある1日のどんまい本町センターどんまいハウスの支援員さんたちです!!



★ゆっくいクラブ情報★

ゆっくいクラブは、今年4月1日に小規模作業所から地域活動支援センターⅡ型に移行しました！！ということで、今回は「新ゆっくいクラブ」をどーんとご紹介しちゃいます！！

平成19年4月に開設。開設当初はメンバー5名と職員1名。ゲームをしたり、DVD鑑賞をしたりの日々でした。しかし「城山事件」をきっかけに、内職作業を発掘することにしました。1つの部屋で細々と和気あいあいと少人数で作業を行っていました。

「城山事件」というのは、作業もなく何もすることがないため、城山へ行くかという話になり、全員で歩いて城山へ行ったことがありました。暑くて、暑くて、しんどくて、汗だくとなり、皆さんヘトヘト・・・。「もうこんなの嫌だ！！」っと、片っ端から製函業者に電話営業し、今の箱作り作業をする事になったという経緯です。

2年目には、内職作業の他にも続々作業のレパートリーが増えてきました。

食事提供「ゆっくいランチ&ゆっくい弁当」、まんてん企画からのマンション清掃、どんまいクラブからカレンダー印刷の作業を頂くなど、充実した毎日を送れるようになりました。それにつれて、メンバーの人数も増大し作業所も活

気が出てきました。

が、弊害も出て来たように思っています。弊害というのは、メンバーの一人一人に目が届かず、病状の悪化に気付くことが遅れることもありました。また、人数が増えたため、作業所がパンク状態になり、落ち着かず息苦しい状態が続いていました。

なので、平成20年4月1日、作業所を拡張！！2Fフロア全てがゆっくいクラブとなりました。作業所が2部屋になったことで、みんなに気持ちの余裕が出来たように思います。静かに過ごしたいと思う人の休憩場所が出来たり、広がって作業にもゆとりができました。

そして3年目の今年、今度はもっと大きな変化です。ゆっくいクラブは地域活動支援センターⅡ型に移行しました。気が付けば通所メンバーも30名近くに。またまた手狭な状態になり、3Fにも進出。合計3つの部屋で、作業を

したり、休憩をしたり、ゆっくい毎日を過ごしております。新しいスタートを切った、ゆっくいクラブ。今後は、ゆっくいクラブならではの作業を開発していかなければなりません。予定としては、印刷を主に作業を展開していきます。寄付金を利用し、新たにリソグラフを購入しました。印刷作業を具体化し、安定した収入を得られるように今後は取り組んでいきます。



ゆっくいランチ調理中。
おいしくなあれ・・・♪



さあ盛り付けです！！



配達だってします！！
ゆっくい弁当お届けに参りましたー♪



2階の休憩室です。みんながくつろぐ場です。



3階の印刷作業スペースです！



3階の作業室。みんながゆったりと作業できます♪

4月より、地域活動支援センターII型となったゆっくりクラブの皆さんに、アンケートを実施しました！！

1、 小規模作業所から地域活動支援センターに移行して何か変わったと思うことはありますか？ 変えていかなければならないと思うところはどこですか？

- ・大規模になっていい。通所する人が通所日数が少ないので少しでも通所日数が多くなればいいと思う。
- ・部屋の数が増えて、作業がしやすくなった
- ・話し合いを大切にしたい
- ・変わった実感はないけど、急に人数が多くなってしんどくなったが、人が増えて賑やかになった。

2、 3Fに作業部屋が増え、良かった点は？また逆にしんどい点は？

- ・作業室が2つに分かれ、ゆったりと作業が出来るようになって良かったと思います。
- ・広くなって休憩時間とか人の密度が下がって落ち着けるようになった。
- ・煙草を吸わない人がゆっくりする場所ができた
- ・人数が増えて、作業が早く進みすぎる。
- ・階段がしんどい。

3、 ゆっくりクラブのセールスポイント(自慢)は？

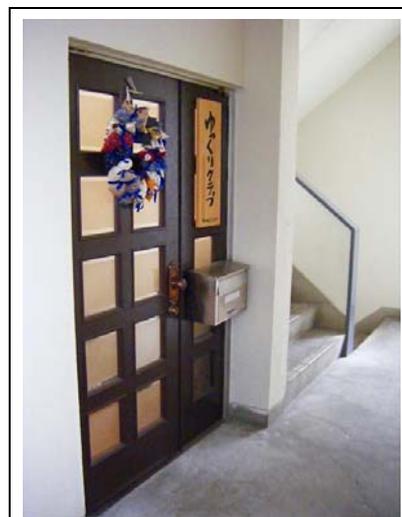
- ・明るく、楽しくのびのびとした空間で、居心地が良い。
- ・メンバーもスタッフも親しみやすい
- ・職人さんみたいな人もいて頼もしいです。作業が早い！
- ・みんなが優しくて平和な場所です。あと何でも話せる雰囲気が良いと思います
- ・バザーのアイスクリンはダブルで100円という安さ。みんな完売を目指して頑張ってます。お客さんと会話しながら売るのが楽しいです。
- ・ゆっくりランチはそれぞれに役割があり、おかず1品1品に手間暇かけて作っている。衛生面でもみんなチェック表をつけてきちんとしていて、本格的な弁当が出来ている。あのボリュームで400円はお得♪

4、 セールスポイントを踏まえ、これからどんな作業所にしていきたいですか？

- ・作業内容を増やし、色々な作業を試みたい。(部品の組み立てなど)
- ・もう少し通所が少ない人はもっと来られるようになったらいいなと思います。
- ・のんびりと作業をして、ゆっくりとした時間を過ごしたい。
- ・活気のある作業所になると良いと思う。
- ・これまで以上にみんながもっと頑張ってくれて働いていける場所にしていきたい。
- ・もうちょっと給料が上がったらいいな

5、 これからのあなたの意気込みは？

- ・1日も早い社会復帰に向け、体力、気力、精神面で頑張っていきたいです。
- ・もっとみんなと仲良くなりたい。
- ・自分のやれる範囲で無理をせず頑張りたいです。
- ・前向きにやっていきたい。
- ・毎日通所出来るようになりたい。朝から通所出来るようになりたい。
- ・それぞれの能力を生かして作業ができ、それぞれのペースで前進していける場所にしたいです。



ゆっくりクラブ2F入口です！



モルゲンビルの2・3Fにゆっくりクラブがあります♪

今後とも、地域活動支援センターゆっくりクラブをよろしくおねがいします！！



♪どんまいクラブ情報♪

地域活動支援センターどんまいクラブ店舗部 **あとリエ de まいんど** が、オープンからもうすぐ1周年を迎えます！！ということで、「あとリエ de まいんど」の魅力をどーんとか紹介いたします♪♪

2008年6月30日に“あとリエ de まいんど”がオープンして、もうすぐ1年が経ちます。早いもので、もう1周年なのです！！ということで、現在新商品を考案中です！！今回はその中身をご紹介します♪♪

第1弾と！！期間・個数ともに限定！あなたのご希望のデザインでオリジナルカップはいかがでしょうか？

父の日・母の日限定で販売しております！5月より限定10個で販売開始しております！！

WEB SHOPでも販売しており、ご注文も頂いております！！数に限りがございますので、ご希望の方はお早めにごうそ！！



さらに、メンバーさん自身が商品の開発・制作に取り組んでいます！自分でアイデアを考え、それを実際に形にしていく。とっても大変なことです。が、わからないことや難しい部分については、スタッフに相談し、それぞれが努力して作品の完成に力を注いでいます！！沢山の商品がありますので、ぜひ1度ご来店ください♪

さて、その商品をここでちょっとご紹介しちゃいます♪♪

	<p>★メッセージカード★ 手作りハガキを使ったメッセージカード♪お誕生日など、大切な日に送ると、きっと喜んでもらえるはずですよ♪</p> <p>★しおり★ こちらも手作りハガキを使ったしおりです♪七夕には、短冊にもなっちゃう優れ物です！オリジナルイラストがやさしい気持ちにさせてくれます。</p>
	<p>★単語帳★ かわいい単語帳です！ハガキのやさしい色合い、そしてとってもキュートな表紙！！メモ帳としても使えます♪右下は「どんまいくん」です！！</p> <p>★名刺・名札★ 手作りハガキを使った名刺です！紐紐との組み合わせで、名札にだって変身します！！やさしい手触りと色合いで癒されます。</p>
	<p>★福笑い★ 手作りハガキを使った、ユーモア溢れる福笑いです！！みんなで楽しめる、やさしい手触りが自慢の商品です！！</p> <p>★ポエム付ハガキ★ 手作りハガキに四季の花のイラストを手描き、メンバーさんによる心に響くポエムが綴られています。癒しを求める方はぜひどうぞ♪</p>
	<p>★えころんパズル★ 段ボールを使った、手作りオリジナルエコパズル！！12ピースなので、お子様からお年寄りまで楽しめちゃいます♪指の機能訓練にもなりますよ！</p> <p>★組み紐★ 手編みの紐紐です！！名札につけると、たちまちオシャレになっちゃいます！！いろいろな色合いをお楽しみ下さい♪</p>
	<p>★マウスパッド★ 手作りハガキと段ボールを使ったマウスパッド♪かわいいデザインがとってもキュート！！裏面の手作りハガキがベストマッチ！！</p>

☆新スタッフ紹介☆

2009年4月1日から、2人の新スタッフが仲間入りました！！

皆様にお知って頂けるようこの場を借りて、自己紹介をさせていただきます！以前よりおひますスタッフともども、今後ともよろしくお願いたします！！

3つの質問に答えてもらいました！！

① この仕事を選んだ理由は??

私の兄は軽い知的障害があります。兄と関わる中で、福祉に興味を持ち福祉の仕事に進もうと思うようになりました。精神に進むきっかけは、専門学校オープンスクールに参加した際、精神保健福祉士の方のお話を聞き、そこで精神障害というものを知りました。ボランティアや実習に行き関わることができ、精神障害というものは目には見えないうし、見ることのできない病気だと思います。そんな中で関わりながら精神障害について分りたいと思い、この仕事を選びました。

② 実際に仕事をしてみて?

私はどんまいハウスいずみでケアホームの世話人をしています。私がどこまでして本人に何をやらしてもらえばいいか、今自分がやっていることに意味があるのか、正直な所分からないことだらけです。その人のことを考えれば考えるほどわからなくなることもあります。

③ これからは?

人の生活の場に入るということで、今までにない責任を感じています。これから自分なりに一生懸命頑張り責任のある仕事をしたいと思います。宜しくお願いします。



① この仕事を選んだ理由は??

アルバイトとして勧められ、始めました。

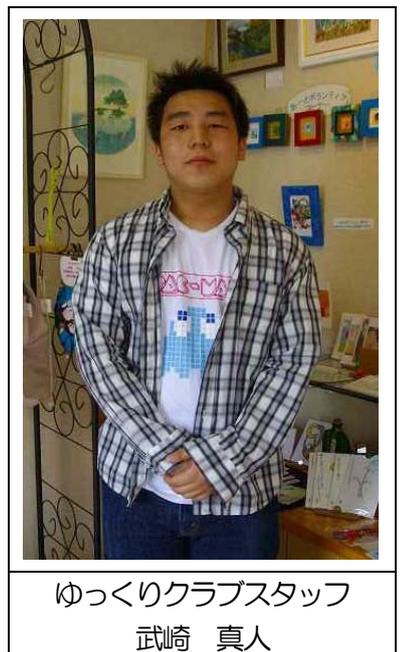
② 実際に仕事をしてみて?

この分野の仕事は、何もわからないので、戸惑うばかりです。出来ないことも多く、不安なこともあります。やれるだけやってみようと思います。

③ これからは?

始めて1ヶ月が経ちましたが、未だ慣れずいます。続けられるのか悩んでいるところもありますが、今はまだ出来ることだけをやっていこうと思います。

ということで、まだまだ若い2人の新人スタッフです！これから様々な場面で皆様にお世話になるかとおもいますので、以前よりおひますスタッフともども、よろしくお願い致します。



NPO 法人どんまい社員名簿

H21.4.1 現在

	氏名	役職	勤務先	
1	谷本圭吾	理事長	(医)味酒心療内科	精神保健福祉士
2	栗栖公明	理事	(医)味酒心療内科	事務長
3	中井一成	理事	中井ホーム	不動産、建築会社経営
4	上西光宣	監事	(有)ベターライフ	介護保険事業所経営 (介護保険・グループホーム)
5	山内義雄	社員	山起会ライフサプライ	介護保険事業所経営 (介護保険・在宅、デイサービス)
6	大坪廣子	社員	大坪司法書士事務所	司法書士
7	多賀達夫	社員	多賀住宅設備	家電、住宅設備会社経営 (電器店・バリアフリーリフォーム等)
8	武崎美弥子	社員	(医)味酒心療内科	精神保健福祉士
9	丸田一郎	社員	真光園	精神保健福祉士 (社)きらりの森理事 NPO法人ほっとねっと理事
10	笠陽一郎	社員	(医)味酒心療内科	精神科医
11	村上佳子	社員	愛媛医療福祉専門学校	教員 (精神保健福祉士養成コース等)
12	旭修司	社員	(医)味酒心療内科	精神科医
13	本田秀明	社員	ホンダ社労士事務所	社会保険労務士 まつやまNPOサポートセンター
14	西岡彩	社員	久米病院	精神保健福祉士
15	石丸裕司	社員	石丸税理士事務所	税理士

H20年度法人活動報告

- 4/1 ゆっくりクラブ増設・引っ越し
- 4/4 どんまい法人花見会
- 4/8 法人連絡協議会出席（理事長）
- 5/7 第6回精神保健福祉支援連絡会議（女性総合センター）
- 5/13 法人連絡協議会出席（理事長）
- 5/20 愛媛医療福祉専門学校実習生1名受け入れ（～5/28）
- 5/24 H20年度通常総会開催
- 6/10 法人連絡協議会出席（理事長）
- 6/25 愛媛医療福祉専門学校実習生1名受け入れ（～7/1）
- 6/27 こころの健康フォーラム幹事会（理事長）
- 6/28 どんまいクラブ店舗部“あとりえ de まいんど”
プレオープンイベント開催
- 6/30 どんまいクラブ店舗部“あとりえ de まいんど”オープン
- 7/1 聖カタリナ大学実習生1名受け入れ（～7/8）
- 7/2 第7回精神保健福祉支援連絡会議（女性総合センター）
- 7/8 法人連絡協議会（理事長）
- 7/14 ケーブルテレビ取材
- 7/16 まんてん企画小規模作業所“口笛”さんと契約
- 8/1 東雲女子大学実習生1名受け入れ（～8/8）
- 8/11 東雲女子大学実習生1名受け入れ（～8/18）
- 8/12 法人連絡協議会（理事長）
- 8/23 どんまい夕涼み会（奥道後山頂ビアレストラン）・参加100名
- 8/26 聖カタリナ大学実習生1名受け入れ（～9/2）
- 8/31 愛媛新聞“アートで広がる社会参加”記事掲載
- 9/1 月刊誌サニア“人に華”記事掲載
- 9/3 第8回精神保健福祉支援連絡会議（女性総合センター）
- 9/6 まつやまNPOまつり講演会参加（スタッフ）
- 9/7 まつやまNPOまつり出店、ロビー展示（法連会）参加
- 9/9 法人連絡協議会（理事長）
- 9/17 イーパーツよりカラーレーザープリンタ寄贈
- 10/14 法人連絡協議会出席（理事長）
- 10/15 真光園内覧会出席（理事長）
- 10/16 地域移行支援検討会（スタッフ2名）
- 11/2 愛媛新聞“心あったか手づくり暦”記事掲載
- 11/5 第9回精神保健福祉支援連絡会議（女性総合センター）
- 11/11 法人連絡協議会出席（理事長）
- 11/12 朝日新聞“障害者手づくりカレンダー”記事掲載
- 11/20 東雲女子大学講義「地域生活支援について」（理事長）
地域移行支援検討会（スタッフ2名）
- 12/5 NPO交流会参加（理事長・スタッフ）
- 12/6 聖カタリナ大学公開セミナー実践報告「地域変革」
- 12/9 法人連絡協議会出席（理事長）
- 12/17 松山記念病院院内研修会講義「地域移行支援事業と地域の実際」
- 12/18 地域移行支援検討会（スタッフ2名）
- 12/28 イーパーツより取材

- 1/8 どんまい本町センター消防点検
- 1/9 どんまい本町センター松山市完成検査
- 1/10 どんまい本町センター・ケアホーム内覧会
- 1/13 法人連絡協議会出席（理事長）
- 1/14 第10回精神保健福祉支援連絡会議（女性総合センター）
- 1/15 どんまいハウス・こもれび本町に転居
地域移行支援検討会（スタッフ2名）
- 1/19 どんまいハウス・ひなた開設
- 2/5 地域移行支援検討会（スタッフ2名）
- 2/10 法人連絡協議会出席（理事長）
- 2/13 自立支援法説明会（理事長・スタッフ2名）
- 2/18・19 防火管理責任者講習会（スタッフ）
- 2/19 障害程度区分認定調査面接勉強会（スタッフ2名）
- 2/21、22 精神保健福祉士中四国大会参加（高知）（スタッフ3名）
- 3/4 第11回精神保健福祉支援連絡会議（女性総合センター）
- 3/8 「こころの健康フォーラム」出店参加、企画・展示コーナー担当
- 3/16 ゆっくりクラブ作業室増設・引越し
- 3/17 法人連絡協議会（理事長）
- 3/24 松山湯築ライオンズクラブ寄付金贈呈
- 3/25 県立広島大学実習担当本文見学

どんまいのHPを開設しています。皆様に読んでいただけるよう、がんばって更新していきたいと思っております！是非お気に入りに入れて下さい。どうぞよろしくお願いいたします！！

<http://npo-donmai.web.infoseek.co.jp>

NPO法人どんまいHPへどうぞ！！

どんまいの活動報告、どんまいクラブの商品紹介や、[きょうの晩めし\(GHブログ\)](#) [ゆっくりやってます\(作業所ブログ\)](#) [未だ不完全燃焼\(理事長K5君のブログ\)](#) など、盛りだくさん！！ちょっとのぞいてみてくださいな。

★NPO法人どんまい賛助会員募集中★

H20年度も多大なるご理解・ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。皆様のおかげで、活動を無事に行うことができました。今年度も何卒よろしくお願いいたします。

まだまだ賛助会員を募集しておりますので、皆様ご協力のほどよろしくお願いいたします。また、H20年度賛助会員費未納の方は、ご入金いただきますようよろしくお願いいたします。

お問い合わせはこちらまで：スタッフ事務所 〒790-0811

松山市本町6丁目11-8 どんまい本町センター1F TEL 089-989-3023

NPO法人どんまい賛助会員募集中

個人年会費＝ 1口 5000円

団体年会費＝ 1口10000円

振込口座 伊予銀行 松山駅前支店 普通 1922677

NPO法人どんまい 理事長 谷本 圭吾 宛

第2号議案

平成20年度事業報告書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

NPO 法人どんまい

1 事業実施の方針、活動について

精神障害者の社会参加促進を目指し、生活を取り戻すための活動の場、相談・サポートをできる場等を充実させていくとともに、地域移行（長期入院の方の退院促進）を進めるためケアホームの増設を実行しました。結果、長期入院を余儀なくされていた方々の受け入れを進め、地域での生活を支援できる体制を作りました。

どんまいクラブの移設、付属店舗あとりえ de まいいんの新設、どんまいハウスこもれびの移設、事務所の新設、ケアホームを2施設新設するため、“どんまい本町センター”を開設しました。

4月1日から、平成19年度一年間自主運営をおこなってきた“ゆっくりクラブ”が小規模作業所として補助金対象の施設になりました。

法人として“まんてん企画”の事業も軌道に乗り、企業の仕事を作業所で計画的、安定的に高収入が得られるよう、コーディネートする事業で、今年度は、当法人の2作業所に加え、NPO法人ほっとねっとの口笛作業所の計3施設にマンション定期点検清掃の業務を提供しています。

松山市の医療機関、行政機関（県、市）精神関係の活動をしている法人にお集まりいただき、2カ月に一度（奇数月）「精神保健福祉支援連絡会議」を開催しています。この会議は法人の事業に活動報告とともに、松山市の精神障害福祉に関する幅広い意見交換の場として重要な会となっています。

松山市が県の委託事業としてすすめている地域生活移行支援特別事業には法人から2名の生活移行推進員を登録し、退院促進に向けて活動を続けています。

また行政・各機関からの理解・協力を得る必要があることから、民生委員、生活福祉課担当者、権利擁護事業担当者等への協力依頼、調整、意見交換などを進めました。地域の自治会主催の会などにも法人としてスタッフが出席し、交流を深めました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	人数	支出額(千円)
障害者自立支援法に基づく障害者福祉サービス事業	精神障害者共同生活介護事業(ケアホーム)	4月1日 ～3月31日	松山市内	8名	松山市内の精神障害者 30名	31,570
障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業	地域活動支援センターII型の運営 どんまいクラブ	4月1日 ～3月31日	松山市内	4名	松山市内の精神障害者 約30名	14,486
障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業	精神障害者小規模作業所の運営 ゆっくりクラブ	4月1日 ～3月31日	松山市内	5名	松山市内の精神障害者 約30名	7,876
障害者の地域生活支援に関する事業	まんてん企画	4月1日 ～3月31日	松山市内	1名	松山市内の精神障害者 40名	867

平成21年 4月 1日から平成22年 3月31日まで

NPO法人 どんまい

1 事業実施の方針

法人は、障害者共同生活介護事業、地域活動支援センター、の経営を事業の柱として、精神障害者の主体性、選択性を尊重した仲間作り、生きがい作り、障害者の人権に配慮したまちづくりに寄与したいと考えます。

- ① 障害者共同生活介護事業（ケアホーム）においては、現在、受け皿がなく、社会的入院を余儀なくされている方たちの退院をすすめていくため退院後の生活のサポートができる施設、現在一人暮らしをしているが、共同生活による介護の必要性が出てきた人たちのための施設など特徴を持たせた5施設の“ケアホームどんまいハウス”（こだち、いずみ、こもれば、ひなた、わかば）の事業を運営をし、長期の社会的入院の人の退院促進を進めています。
- ② 生活援助を必要とする方のために、日中活動の場の整備も不可欠となります。精神障害者地域活動支援センター“どんまいクラブ”では、作業やレクリエーションでの役割分担などを通し、やすらぎや達成感を感じながら、次の目標に迎えるよう、援助、指導を行います。就労援助、社会適応訓練などについても計画を進め、通所者のレベルにあわせたニーズに答えられるよう、事業を展開していく予定です。
- ③ 4月から施設を広げ、地域活動支援センターⅡ型として運営していく“ゆっくりクラブ”も地域で生活を総合的に支援します。印刷製本請負業を主体とした作業を通し社会とのつながりを作っていきます。仲間作り、生甲斐造りを支援します。
- ④ その他の事業として、まんてん企画では作業所と一般企業を結ぶコーディネート事業を進めます。作業所の社会参加を進め、企業での仕事のパートナーとしての立場を形成していく手助けができればと考えています。
- ⑤ 事業を進めていくためには、その事業に携わる人の育成も不可欠です。各事業所との交流会・勉強会なども企画し、研鑽に努めます。精神障害者に対する地域生活支援を進める中で市民の理解も不可欠です。各バザー・イベント・交流会などに利用者とも積極的に参加して、市民との交流を深め、その理解を推進します。

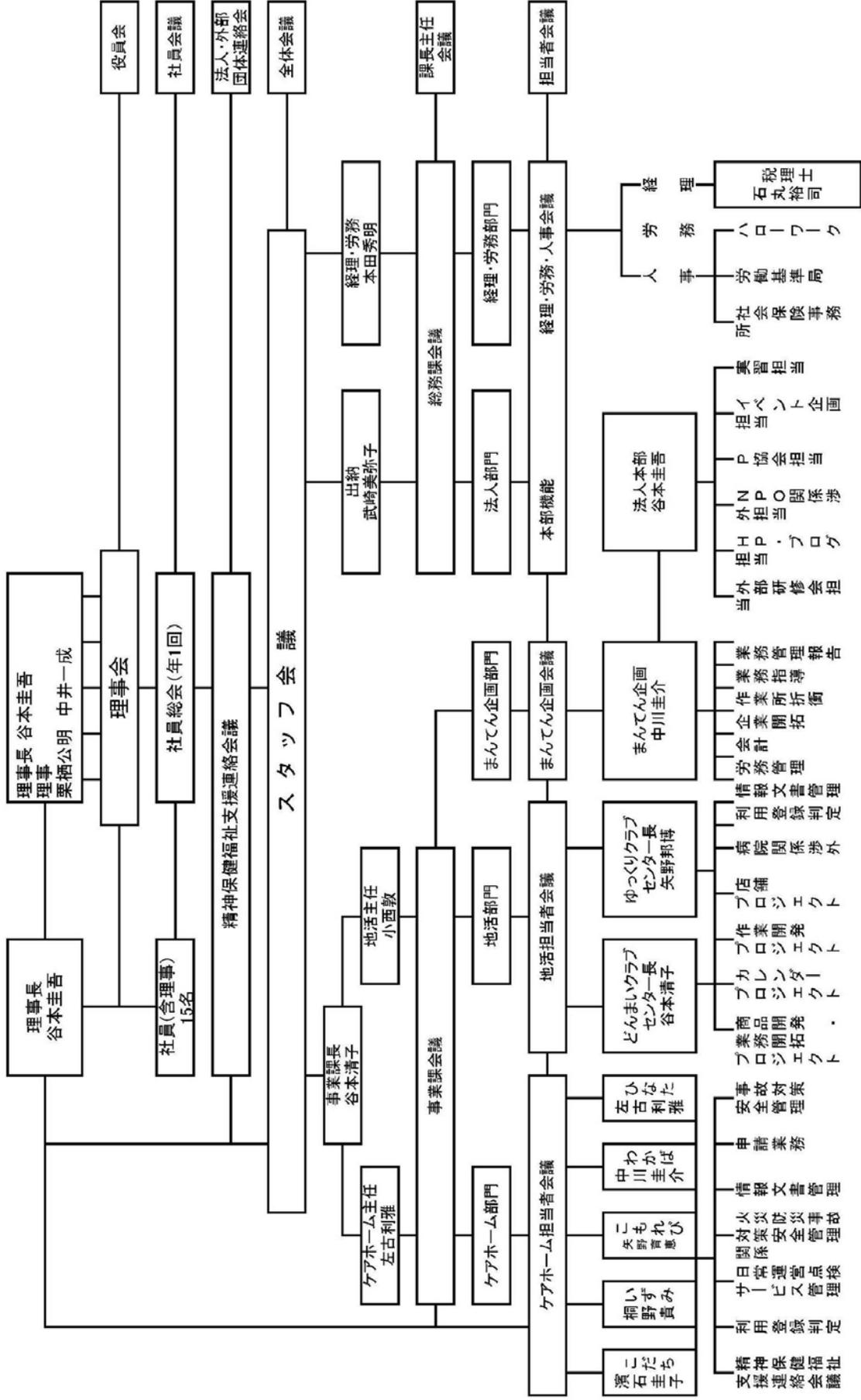
2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び 予定人数	支出見込 額 (千円)
障害者自立支援法に基づく 障害者福祉サービス事業	精神障害者共同生活 介護事業 (ケアホーム) どんまいハウス	通年	松山市内	11名	松山市内の精神障害者 30名	48,460
障害者自立支援法に基づく 地域活動支援センターの経 営	地域活動支援センタ ーどんまいクラブ	通年	松山市内	5名	松山市内の精神障害者 約35名	14,422
障害者の地域生活支援に関 する事業	地域活動支援センタ ーゆっくりクラブ	通年	松山市内	4名	松山市内の精神障害者 20名	12,488
その他、当法人の目的を達 成するために必要な事業	まんてん企画 企業と作業所を結ぶ 作業内容コーディネ ート	通年	松山市内	1名	松山市内の精神障害者 50名	1,300
その他、当法人の目的を達 成するために必要な事業	他事業所との交流 会、勉強会など	通年	松山市内			0

2009.4.1～

組 織 図



編集担当の田野です。いや・・・まめだめきですね。今回は、編集長左古と一緒に取り組ませていただき、ケアホームや作業所など、様々なテーマに沿った内容の濃いどんまい便りになったかと思います。また今年度より、皆様にとんまいの活動をより知って頂くためにメルマガ配信の取り組みも始めました。何か一つでも多く皆様に伝われば、こんなに嬉しい事はありません。皆さまのご協力のもと、このような活動ができますこと、心より御礼申し上げます。今後とも、NPO 法人どんまいをよろしくお願い致します。

TANO

一応、編集長のサコです。今回の記事はテーマを分担して決め、その上で作成していきました。正直なところ作るの大変で、伝えたい事を言葉にする、想いを紙面に載せるというのは非常に難しいです。決して上手くできたとは言えませんが、自分なりに努力したので見てほしいです。最後になりますが、とある方に、「各法人は兄弟分みたいなものよ。」と教えてくれました。皆で協力して一つの事を成し得るということが、この仕事の常だとおもいます。いろいろな人の協力の上で、成り立つ仕事です。影ながら、協力してくれているこの記事を読んでくださっている方、いつもありがとうございます。賛同している皆様に、感謝、感謝、感謝です。これからも何卒よろしくお願い致します。

去年1年間地域移行推進員として、活動しました。その事が新聞記事になりました。本音を話すと地域移行推進員自体は、自信をなくしながらなんとか進んでいます。山あり谷ありですが、退院できて良かったと言ってくれるから、頑張っています。今回はたまたま、当法人が掲載されましたが、他の推進員さんも同じように山あり谷ありで推進員をしていると思います。前回のどんまい便りにも記載しましたが、地域移行推進員として活動して思うのは今も変わらず、他人事と思ってほしくないと感じる事です。それは変わらずです。最後になりましたが、記事も良かったら見てください。

SAKO

受け皿なく「社会的入院」

精神障害者の退院支援

県が08年度 14人ケアホームへ

入院。県福祉課に
は、一月現在、二十三の
精神科病院で五百六十
六人の上る。
県は08年度、松山
圏域の七精神科病院で
六カ月上入院してい
る患者の中から四十人
を対象に、ケアホーム
の見学や試験外泊など
の退院支援を実施。十
四人がケアホームに入
所する形で退院を果た
した。入院期間は一年
一月から四十九年九カ
月で、平均は十一年四
カ月だった。
県から事業を委託さ
れた松山市が、病院と

見学や試験外泊通じ
入院。県福祉課に
は、一月現在、二十三の
精神科病院で五百六十
六人の上る。
県は08年度、松山
圏域の七精神科病院で
六カ月上入院してい
る患者の中から四十人
を対象に、ケアホーム
の見学や試験外泊など
の退院支援を実施。十
四人がケアホームに入
所する形で退院を果た
した。入院期間は一年
一月から四十九年九カ
月で、平均は十一年四
カ月だった。
県から事業を委託さ
れた松山市が、病院と

見学や試験外泊通じ

地域の総合調整役を務
める地域体制整備コー
ディネーター五人と、
長期入院患者を個別支
援する地域移行推進員
十二人を委嘱した。
推進員を務める精神
保健福祉士の左古利雅
さん(五十)は「長期入院
患者の多くは最初「退
院はしたくない」と言
う。しかし、それは入
院生活しか知らないか
ら。何度か通って退院
外は五圏域でも保健所
がいてる松山記念病院
では、松山市美沢(一丁目)
では対象者八人のうち
一人が退院。須賀野り
ハビリテーション課長
は「長期入院患者の高
齢化や、退院後の生活
に対する本人、家族の
不安など課題は多い
が、一人でも多くの患
者が退院できるような努
力したい」と語る。
県は本年度、松山以
外は本年度、松山以



松山市の精神科病院から退院し、市内のケアホームで職員らと談笑する男性(左)。中央は推進員として退院を支援した左古さん＝4月中旬

などを中心にした支援
事業をスタート。担当
の障害福祉課は「予算
は少ないが、病院、地
域と連携し退院を進め
たい」と話している。

「本当に幸せ」生きる喜び実感

「ずっと病院でええ除の練習を積み重ねて
と思っていたんですけどね。やっぱり退院し
て良かった。二月院は欠かさない。やる
松山市内の精神科病
院から退院し、同市の
特定非営利活動法人
(NPO法人)「どん
まい」が運営する同市
のケアホーム「これ
び」で暮らす男性(五十)は地域に生きる喜びを
実感する。
男性の入院歴は約二
年と比較的短い。しか
し、若いころに発病し
て以降、自宅から外出
することはほとんどな
かった。社会への適応
力が不十分だったた
め、退院前に洗濯や掃
き掃除、洗濯自分で
たいという気持ちが芽
生えたようだ」と振り
返る。男性のように
条件整備とぎっかけて
えあれば、退院して社
会生活を送ることがで
きる長期入院患者は多
いという。
男性はまだ退院でき
ない人たちのことを気
に掛ける。「僕は本当
に幸せ。ケアホームが
なかったら、まだ入院
していたと思う。こう
いう場所がたたくんで
さる」といって受け皿
の必要性を訴えた。

男性の退院支援を
た地域移行推進員で
、どんまい職員の左古利
雅さんは「(この男性
は)最初は「(この男性
が)全然なかった。しか
が、一度ケアホームを
め、退院前に洗濯や掃
き掃除、洗濯自分で
たいという気持ちが芽
生えたようだ」と振り
返る。男性のように
条件整備とぎっかけて
えあれば、退院して社
会生活を送ることがで
きる長期入院患者は多
いという。
男性はまだ退院でき
ない人たちのことを気
に掛ける。「僕は本当
に幸せ。ケアホームが
なかったら、まだ入院
していたと思う。こう
いう場所がたたくんで
さる」といって受け皿
の必要性を訴えた。